

「つしまっ子」が語る

様々な想い

第8回 対馬少年の主張大会



2月15日、対馬市公会堂で、平成20年度第8回対馬少年の主張大会（対馬市青少年健全育成連絡協議会・対馬市教育委員会主催）が開催され、市内各町の代表12名が日頃の思いを発表しました。

ポランテアや国際交流、いじめ、クラブ活動など様々な問題を、中学生の視点でしっかりととらえ、堂々と語る決意や提言に、市民約220人が聞き入りました。

最優秀賞
題「己のごとく」
小田 智彦

私たちの住んでいるこの日本は、今とても平和で、世界でも有数の経済大国です。しかし、世界には、戦争や紛争の絶えない国が数多くあり、子どもが戦争に駆り出されている。戦場に立ち、銃を握っている子どもたち、詳しい事情を知らずただ「敵を殺す」それが正しい道、やるべき使命だと信じさせられている。私は今14歳です。この年で銃を握り、人を殺す、想像できない恐ろしいことです。日本もかつて戦争をしていました。私の想像をこえた恐ろしいことがたくさんあったに違いありません。過ちを繰り返さないためには、過去を見直し、学ぶことです。

8月9日に平和集会を行い、集会の朗読劇の中で、自ら被爆しながら被爆者の手当てをした医者、永井隆さんを演じました。

「私のことはどうでもよか。それよりも怪我をした人を早く」私は、彼の人に対する思



堂々と発表する小田くん

い強さを痛いほど感じました。

どんな極限状況の中でも、人は生きたいと願い、そしてできることなら生かしてやりたいと望むでしょう。

永井さんが残した「己のごとく人を愛せよ」。

世界中の人が自分を愛するようにならなければ、きつと世界の中から争いはなくなるのではないかと永井さんの思いが込められた言葉です。

世界中に人が「己のごとく」自分の近くにいて人を愛せたら、みんながみんな自分を思うように人を愛せたら、みんながみんな自分を思うように人を大切に思う心を持つて生きられたら。きつと小さな

な争いも、大きな戦争もなくなるはず。」「己のごとく人を愛せよ」私はまず自分の身近にいる人を大切に思い、心の輪を、平和の輪を広げていきたいと思っています。いつか必ず、遠くの戦場で銃を持たされる子どもがいなくなるよう。世界が平和になる日が実現できるように。（内容は抜粋、省略し掲載しています。）



発表した12人の生徒の皆さん

なお、対馬地区保護司会の審査による平成21年度社会を明るくする運動長崎県弁論大会の対馬代表には、仁田中学校2年高野大希くんの「知ってほしい」が選ばれました。

対馬市民スポーツ祭り

対馬出身のアスリートが指導

2月8日、生涯スポーツイン(つしま)「対馬市民スポーツ祭り」(対馬市体育協会など主催)が豊玉町で開催され、小中学生を対象に陸上競技教室やバレーボール教室が開かれました。



小中学生と一緒にジョギングする扇さん

豊玉高校グラウンドで開かれた陸上競技教室では、小中学生約190人が、十八銀行陸上部(長崎市)の扇まさかさんから指導を仰ぎました。扇さんは対馬市上県出身で、大阪国際女子マラソンで昨年5位、今年は8位に入賞するなど全国区の実力者で、女子

マラソン界の明日を担う選手として期待されています。

教室では、ウォーミングアップやストレッチの方法を指導。特にランニングでは、「無駄に体力を使わないためには、

体の中心軸を揺らさないように走ることが大切」などアドバイスをし、参加者と一緒にジョギングをしました。扇さんは「つしまっ子という誇りと自信を持って、いろんなことにチャレンジしてほしい」、「自分自身もこのような指導をすることが初めて、この経験を今後の競技にいかしたい」と話してくれました。

豊玉総合運動公園体育館では、大浦正文さん(島原市商業高校監督)が、バレーボールの指導を行い約160人が参加。レシーブの重要性やス



練習の方法を教える大浦さん

パイクの打ち方、ポジションの他、練習に対する姿勢など、わかりやすくアドバイスをしていました。島内の指導者も今後の指導の参考にと、熱心に勉強をしていました。

大浦さんは、対馬市上対馬町出身。元全日本選手、バルセロナ五輪やワールドカップなど出場し、スーパーストースとして活躍していました。

「目標とする選手やイメージを持って練習に取り組みばうまくなりやすい」、「運動神経のよい子もいるので対馬の中から県大会で優勝出来るチ

ームができた」と話してくれました。参加した比田勝中学校坂本健太朗くん(中2)は、「普段チームでは練習したことない全日本レベルの練習ができてよかった。雰囲気も大事にし、レシーブやトスのレベルを上げていけばチームが強くなるのがわかった」と話してくれました。

ヤマネコ保護に一役

絶滅危惧種であるツシマヤマネコの保護と啓発を図るため

寄付金付き自動販売機6台が、市役所と各地域活性化センターに設置されました。市からの依頼を受けた食品メーカーサントリーフーズ(九州支社)の協力により実現したもので売上の一部(清涼飲料水代金の約2%)が市ツシマヤマネコ基金に寄付されます。

寄付金は、ヤマネコ保護や自然環境の保全、研究のための事業や自然環境保護団体の活動推進、啓発などに役立てられます。今後は、九州管内での設置も進めており、全国にも輪を広げていきます。



対馬銘菓かすまきなど地元の菓子が一堂に集まった「対馬菓子博2009」が2月7、8日の両日、対馬市交流センターで開かれました。

特定非営利活動法人（NPO法人）対馬郷宿が、かすまきの魅力と島内で作られているお菓子を広く知ってもらおうと主催したものです。15店舗から「かすまき」をはじめ「たい焼き」、「ようかん」、「ロールケーキ」など甘い菓子が販売されました。

実演販売では、クレープや回転焼きなどの香ばしい香りに誘われ、立ち止まる姿も見られ、お目当てのお菓子を買ったお客さんは、早速、広場でほおばり、出来立ての味を堪能。まさに「あまーい」一時を過ごしていました。

甘いお菓子が大集合



自信作がズラリ



対馬のトップレベルの作品が集結した、「対馬市民美術展」が1月21日から上県地区公民館で、1月28日から対馬市交流センターでそれぞれ5日間、開かれました。

市民美術活動の普及と振興を図ろうと開かれ、作品は市民から公募されたものです。洋画26点、日本画4点、写真20点、書6点、彫塑工芸30点の計86点が展示されました。

洋画は、彼岸花、落葉、漁港や田園など対馬の自然、風景を描いた作品などが展示され、訪れた人を楽しませてくれていました。

2月8日、対馬市交流センターで第2回対馬島の合唱祭（主催同合唱祭実行委員会）が開催され10団体が参加しました。合唱団体の練習成果を発表する場を作り、互いが切磋琢磨すると同時に、多くに市民に音楽文化と合唱の素晴らしさを知ってもらおうと昨年から行われています。

峰町の東部中学校と上対馬町の南陽中学校の生徒、一般から上県町のアガドルチェが初参加し、合唱祭を盛り上げてくれました。会場は澄み渡る美しい声とハーモニーが多くの人々を魅了し、時が過ぎるのを忘れてしまうくらいでした。最後は、参加した170人全員が「島唄」を合唱。歌の魅力と生の声の素晴らしさを伝え、割れんばかりの拍手でいっぱいでした。

みんなで熱唱 島の合唱祭



熱唱した「コールカミーリア」ステージ衣装は手作りです。

住宅防火モデル地区に指定



2月2日、上県町佐護地区において対馬市住宅防火モデル地区指定書が交付されました

対馬市消防本部が住宅火災による死者減少を目指し、住民の防火意識並びに自主的な防火対策の高揚を図るため、モデル地区として指定したもので、比田勝地区に続いて7ヶ所目になります。平山美登区長は「地域ぐるみで防火意識の向上に努め、住宅火災による死者などを絶対出さないようにします」と挨拶し、佐護へき地保育所幼年消防クラブの子どもは「僕達は絶対に火遊びはしません」と力強い防火宣誓を行いました。今後は、防火教室・消火訓練、住宅用防災機器等の普及推進などを重点的に行う予定です。

2月9日、豊玉町漁協本所で魚の神経メ（じめ）学習会が開催されました。対馬水産業普及指導センターが魚の鮮度保持技術を習得し、漁価の向上に繋げようと開いたもので、約30人が参加しました。神経メは、魚をしめる技術の一つで、ピアノ線などの針金を使い、魚の脊髄を破壊することで死後硬直を遅らせるため、鮮度を長持ちさせることができます。

講師の長崎県漁連対馬事業所所長八島康平さんが早速マサバ、タイ、ヒラマサを使い実演。脊椎に針金を通ると、魚が「ピクッ、ピクッ」と3回程尾びれを動かし、一瞬で動きが止まっていました。千尋藻の原田文和さんは「手間が掛かるが鮮度保持のためこのような技術を習得することはとても参考になりました」と話してくれました。

美味しい魚に変身



慎重に針を通す漁師さん

ながさき子育て支援表彰を受賞



受賞を喜ぶ「地域で子育てを楽しむ会」の皆さん

厳原で活動している地域で子育てを楽しむ会（代表吉田千鶴代さん）が、平成20年度ながさき子育て支援表彰（地域子育て支援功労者の部）を受賞しました。この賞は、地域で子育てを支援するための活動を行うグループや個人に贈られるもので同会は、「地域の子供はみんなの宝」をモットーに毎週土曜日、読み聞かせや、絵画教室など開催し、地域の特徴や季節感を生かしたさまざまな活動が讃えられました。

代表者の吉田さんは「こういう時代だからこそ、いっそう周りの人たちとのきずなを深めながら、昔、私たちが地域の大人に見守られて育ったように子供たちを地域で見守っていききたいと」述べてくれました。

九州大会で3位の快挙

2月13日から3日間、沖縄県で開催された2009ダンロップカップ全国選抜ジュニアテニス選手権九州大会（14才以下シングルス）で、厳原中学校2年西上尚志くん（対馬LTC）が見事3位に輝きました。

小学5年生から硬式テニスを始めた西上くんは、県大会で上位に入賞するも九州大会では、なかなか実力が発揮できませんでした。今大会ではシングルス2回戦で第3シードの相手を敗り、準決勝では優勝した相手に接戦の末8-5と、惜しくも敗れましたが、3位決定戦で8-2と快勝しました。西上くんは「今回の経験が自信につながりました。今年の夏に宮崎で開催される九州大会で上位に入賞し、全国大会の地を踏みしめたい」と語ってくれました。また、2月10日には、平成20年度長崎県スポーツ奨励顕彰も受賞し県内外での活躍が期待されています。



写真提供
藤江信雄

99歳（白寿）おめでとうございます

佐護ミツさん（上県町佐須奈）

99歳を迎えた上県町佐須奈の佐護ミツさんに、対馬市から敬老祝い金を添えて褒状が贈られました。

明治43年2月10日生まれのミツさんは、若い頃、駄菓子屋と回転焼きを経営。時には子供たちに回転焼きを振る舞う程、人に対し愛情深い一方、自分には厳しく曲がったことが嫌いな人柄。現在は、特別養護老人施設「日吉の里」を利用しています。

これからも長生きしてください。



健脚を競う マラソン大会各町で開催

1月25日、あそうベイ健康マラソン大会が美津島町で開催されました。大会は、親子ペアで、1kmの走行タイムを各自で設定し、タイムの誤差を競うファミリーの部などに約310人が出場しました。

2月1日には、豊玉町で第30回豊玉町マラソン大会が開催され小学生から一般まで約452人が出場しました。また上県町では、ジュニアロードレース大会が開催され、小・中学生約215人が健脚を競いました。どの大会も元氣よく走る我が子の姿をカメラに撮ろうと構える人や、「がんばれ」と手を叩き選手を励ます人など大勢の人が詰めかけ、和やかな雰囲気の中、選手たちは自己ベストを目指していました。大会結果は次のとおりです。

美津島町あそうベイ健康マラソン大会結果

区分	1位			2位			3位		
	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等
小学4年男子(1.5km)	根ノ 聡司	5分37秒	北部小	川野 夏輝	5分58秒	厳原小	山崎 爽平	6分13秒	阿連小
小学4年女子(1.0km)	山瀬 未来	3分40秒	塩浦JAC	春田菜々子	3分41秒	久田小	松村 優香	3分45秒	塩浦JAC
小学5年男子(2.0km)	佐藤 賢也	7分03秒	久田小	日高 綾哉	7分03秒	久田小	松村 慶太	7分17秒	大船越小
小学5年女子(1.5km)	早田 朱夏	5分43秒	塩浦JAC	佐藤 希紀	5分43秒	大船越小	田口 沙羅	5分43秒	鶏鳴小
小学6年男子(2.0km)	三浦 健太	6分59秒	久田小	井上 雄太	6分59秒	大船越小	井上 魁人	7分14秒	鶏鳴小
小学6年女子(1.5km)	松原 由希	5分18秒	久田小	根ノ佳奈美	5分41秒	北部小	根ノ優希菜	5分42秒	北部小
中学生男子(3.0km)	松井 佳太	9分57秒	雞知中	山田 祐輔	10分25秒	雞知中	川辺健太郎	10分32秒	久田中
中学生女子(2.0km)	松島 奈央	7分11秒	大船越中	長瀬 早紀	7分21秒	雞知中	浦田帆乃香	7分24秒	雞知中
一般男子(7.5km)	大森 常正	25分22秒	厳原町	永嶋建一朗	25分23秒	美津島町	川口 愛彦	29分58秒	厳原町
ファミリー(1.0km)	河本 岳志 康成	4分20秒	厳原町	日高 睦子	4分20秒	美津島町	井 和彦 真優	4分50秒	美津島町



豊玉町マラソン大会結果

印は新記録

上県町ジュニアロードレース大会結果

印は新記録

区分	1位			2位			3位		
	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等
小学1年男子(800m)	阿比留史哉	3分40秒	佐須奈小	道脇裕次郎	3分45秒	佐須奈小	西山 虎正	3分49秒	仁田小
小学1年女子(800m)	阿比留美咲	3分48秒	佐須奈小	日高 寛子	3分50秒	佐須奈小	内山 遥菜	3分53秒	仁田小
小学2年男子(800m)	前野 匠	3分12秒	佐須奈小	國分 丈	3分13秒	久原小	島居輝雄馬	3分17秒	佐須奈小
小学2年女子(800m)	佐藤 紗良	3分12秒	仁田小	斎藤 唯菜	3分16秒	仁田小	佐伯 春香	3分19秒	久原小
小学3年男子(1km)	須川 慶弥	3分46秒	久原小	中村 亮太	4分10秒	仁田小	糸瀬 彪喜	4分11秒	仁田小
小学3年女子(800m)	高野 麻鈴	3分06秒	仁田小	中里 透子	3分17秒	佐須奈小	小宮 里菜	3分21秒	佐須奈小
小学4年男子(1km)	西山 涼	3分31秒	仁田小	内山 圭悟	3分42秒	仁田小	春田 朱哉	3分47秒	仁田小
小学4年女子(1km)	中村 圭	3分52秒	仁田小	原田愛絵理	3分57秒	仁田小	梅野亜美	4分01秒	佐須奈小
小学5年男子(1.5km)	阿比留悠人	6分11秒	佐須奈小	西山 翔	6分30秒	佐須奈小	春田 優成	6分44秒	仁田小
小学5年女子(1.2km)	糸瀬 有沙	4分12秒	仁田小	佐伯 麻美	4分13秒	久原小	早田菜々子	4分32秒	久原小
小学6年男子(1.5km)	阿比留和弘	5分08秒	佐須奈小	野本 恭兵	5分43秒	久原小	中村 祐太	5分58秒	仁田小
小学6年女子(1.2km)	豊田 奈央	4分26秒	佐須奈小	白石 煤来	4分31秒	仁田小	前野はづき	4分50秒	佐須奈小
中学1年男子(3km)	春田 勇馬	10分53秒	仁田中	佐伯 勇亮	10分56秒	久原中	惣島 栄一	11分10秒	仁田中
中学1年女子(2km)	林 千尋	7分37秒	佐須奈中	西山 詩帆	07分50秒	仁田中	糸瀬 朱那	8分20秒	仁田中
中学2年男子(3km)	小宮 雄大	10分40秒	佐須奈中	丸尾 綾太	10分51秒	佐須奈中	東川 謙士	11分01秒	仁田中
中学2年女子(2km)	阿比留絵里	7分24秒	佐須奈中	大山 由桂	7分38秒	佐須奈中	白石 瑞規	7分40秒	仁田中

区分	1位			2位			3位		
	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等	氏名	記録	学校名等
小学1年男子(1km)	小松 弘毅	4分02秒	厳原小	小島 優作	4分03秒	比田勝小	神宮 啓	4分04秒	阿連小
小学1年女子(1km)	八坂真理愛	4分24秒	東小	松村 乙香	4分24秒	豊玉小	手束 真帆	4分26秒	阿連小
小学2年男子(1km)	松尾 朋樹	3分54秒	豊小	扇 育	3分54秒	西小	村瀬 壮希	3分56秒	大船越小
小学2年女子(1km)	阿比留 葵	4分00秒	豊玉小	満江 樹香	4分05秒	豊玉小	阿比留 楓	4分11秒	塩浦小
小学3年男子(1km)	中村 謙志	3分40秒	西小	山口 智弥	3分41秒	厳原小	播磨 洸樹	3分42秒	厳原小
小学3年女子(1km)	三上ももか	3分45秒	鶏鳴小	中島 由佳	3分56秒	豊玉小	島居 美歩	3分59秒	厳原小
小学4年男子(2km)	根ノ 聡司	7分32秒	美津島北小	阿比留 魁	7分38秒	豊玉小	梅野 真平	8分00秒	豊玉小
小学4年女子(2km)	山瀬 未来	7分49秒	塩浦小	春田菜々子	7分56秒	久田小	東岡 美歩	8分02秒	豊玉小
小学5年男子(2km)	長瀬 智彦	6分55秒	久田小	日高 綾哉	6分56秒	久田小	佐藤 賢也	6分59秒	久田小
小学5年女子(2km)	原田 莉帆	7分33秒	厳原小	早田 朱夏	7分41秒	塩浦小	佐藤 希紀	7分54秒	大船越小
小学6年男子(2km)	三浦 健太	6分56秒	久田小	井上 雄太	6分56秒	大船越小	井上 魁人	7分06秒	鶏鳴小
小学6年女子(2km)	松原 由希	7分10秒	久田小	山田 美涼	7分38秒	久田小	根ノ優希菜	7分56秒	美津島北小
中学生男子(4km)	松井 佳太	13分35秒	雞知中	早田 太一	13分46秒	久田中	松原 弘輝	13分48秒	久田中
中学生女子(3km)	松島 奈央	11分18秒	大船越中	長瀬 早紀	11分27秒	雞知中	山本 彩乃	11分47秒	豊玉中
一般男子(5km)	武末 真輔	16分20秒	上対馬高	辻 庄太	16分53秒	上対馬高	大森 常正	16分55秒	厳原町
一般女子(3km)	中庭 加代	14分41秒	豊玉町	梅野寿美恵	14分52秒	上対馬町	-	-	-
一般男子35-39歳(3km)	村瀬 康展	10分18秒	豊玉町	-	-	-	-	-	-
一般男子40-49歳(2km)	法山 展廣	6分54秒	厳原町	島尾 英樹	8分18秒	豊玉町	-	-	-
一般男子50歳以上(2km)	内山 徳博	6分54秒	厳原町	國分美喜雄	8分59秒	厳原町	-	-	-